

## 1. 亀山市のあらまし

### (1) 位置・沿革

平成17年1月11日に亀山市と関町が合併して誕生した新「亀山市」は、図1-1に示すように、三重県の北中部に位置し、名古屋から約50km、大阪から約100kmに位置し、総面積は190.91km<sup>2</sup>で、鈴鹿市、津市、伊賀市及び滋賀県に接しています。

旧亀山市は、南北朝時代、平重盛の子孫と伝えられる関氏がこの地に亀山城を構え、江戸時代には城下町として栄えました。また、東海道五十三次46番目の宿場町として栄え、今もなお、往時の面影を残す家並みが見られます。また、古くから鈴鹿関より西が「関西」、東が「関東」と呼ばれていたこともあり、その境界である亀山は東と西を結ぶ交通の要所として発展してきました。

昭和29年10月には亀山町、昼生村、井田川村、川崎村、野登村が合併して「亀山市」が誕生。さらに昭和30年に神辺村、白川村、昭和32年に鈴峰村の一部、昭和33年には芸濃町の一部を編入し、旧亀山市の市域になりました。

旧関町は、古い歴史をもつ町であり、奈良朝以前から交通の要衝として関所が設けられました。この鈴鹿関は不破関、愛発関と共に日本三関と呼ばれ、町名もこれに由来していました。鈴鹿関の位置、諸施設の配置については明らかになっていませんが、重要な遺跡であり、適宜発掘調査を行ってきています。江戸時代に入ると東海道五十三次の宿場町となり、伊勢、大和への分岐点の宿として繁栄しました。現在も当時の面影を残す町並みが住民の協力のもとで保存されています。

旧関町成立の経緯としては、昭和30年に関町、白川村の一部、神辺村の一部、坂下村、加太村が合併し、さらに昭和33年に芸濃町から一部編入を経て旧関町となりました。

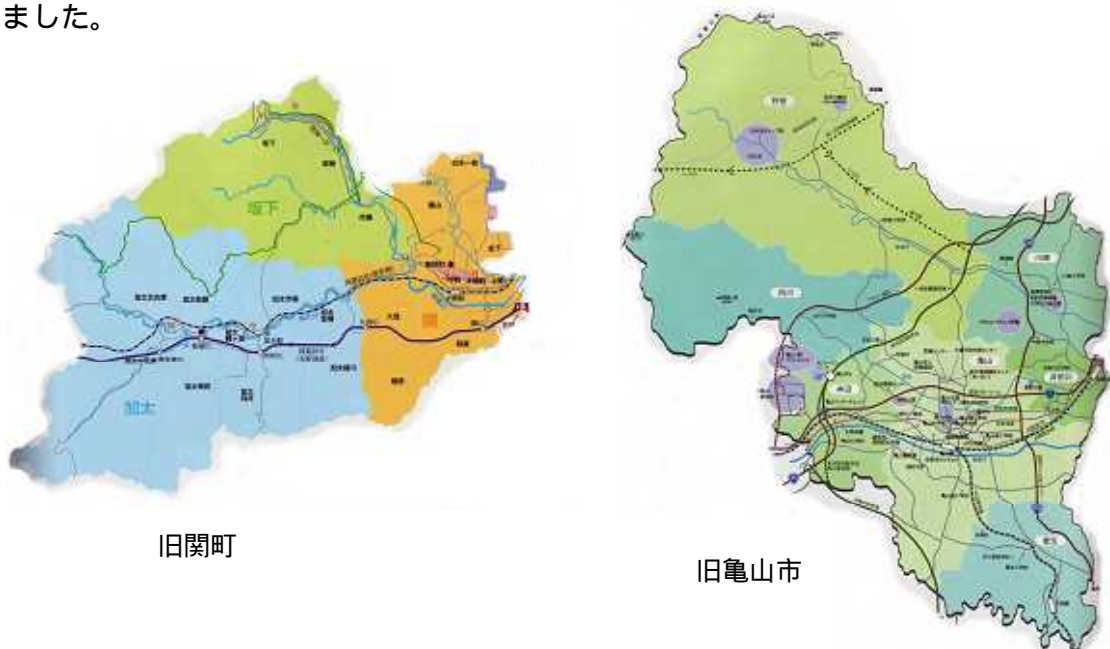




図1 - 1 亀山市の位置

(2) 人口・世帯数

亀山市の人口は、昭和35年以降、経済の高度成長によって人口は都会へ流出し、10年間ほど減少傾向が続きました。しかし、工場誘致や住宅団地開発などにより、昭和40年半ばから人口が増加し始め、平成18年10月1日現在の人口は49,368人となっています。

世帯数は人口増加よりも大きな増加率を示しており、昭和35年に4.51人であった1世帯当たり人口は、平成18年10月1日には2.73人と減少し続け、核家族化の進行がうかがえます。

亀山市における人口及び世帯数の推移を図1-2に示しました。

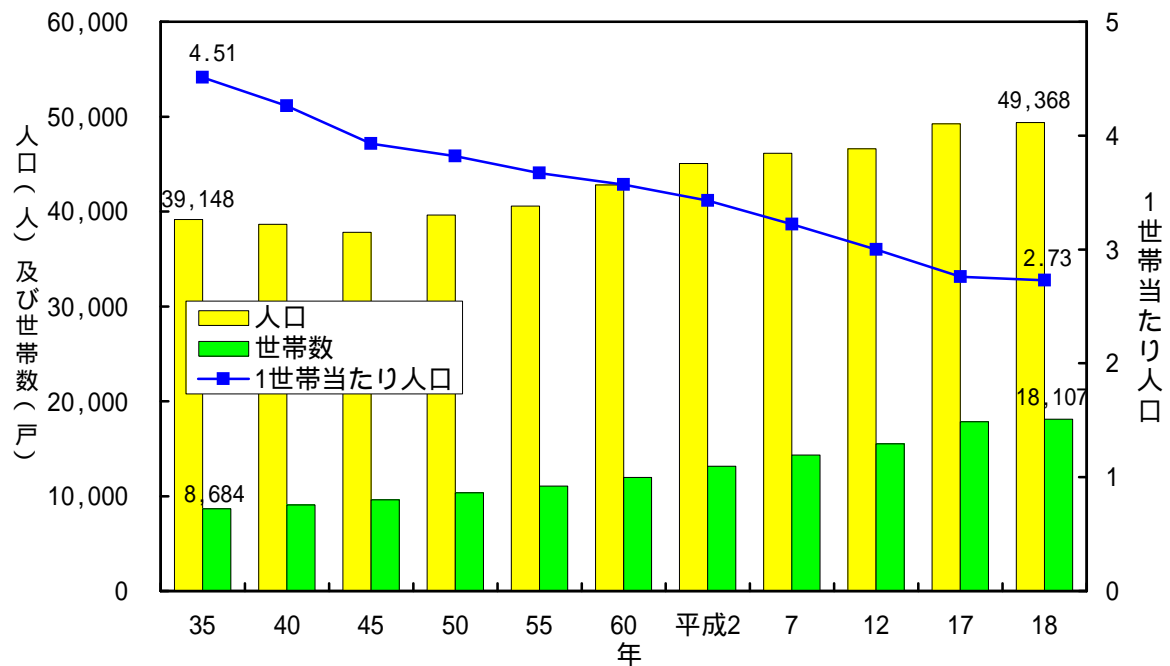


図1-2 人口及び世帯数の推移

資料：国勢調査  
旧市町合算数値

(3) 産業

産業構成

事業所数を見ると、卸売・小売業が最も多く、次いでサービス業の順となっています。従業者数については、製造業が最も多く、次いで卸売・小売業やサービス業、運輸業が多くなっています。

表 1 - 1 産業構成

業 種	事業所数 (件)	従業者数 (人)
農 林 漁 業	5	58
鉱 業	2	19
建 設 業	194	1,037
製 造 業	238	11,137
電気・ガス・熱供給・水道業	3	49
情報通信業	4	68
運 輸 業	62	1,622
卸売・小売業	522	3,273
金融・保険業	19	173
不 動 産 業	24	79
飲食店、宿泊業	166	1,271
医療、福祉	102	1,229
教育、学習支援業	88	768
複合サービス事業	25	261
サービス業(他に分類されないもの)	414	3,013
合 計	1,887	24,492

注) 平成 18 年 10 月 1 日現在

資料：三重県統計書

旧市町合算数値

## 工業

事業所数は、平成3年以降減少傾向にあり大きな変動は見られませんが、従業者数は、平成16年から大きく増加しています。製造品出荷額等についても、従業者数と同様、平成16年から急激に増加しています。

平成18年の業種別製造品出荷額を見ると、非鉄金属分野が最も多く、次いで、輸送機械、プラスチック製品、窯業・土石などの分野が多くなっています。

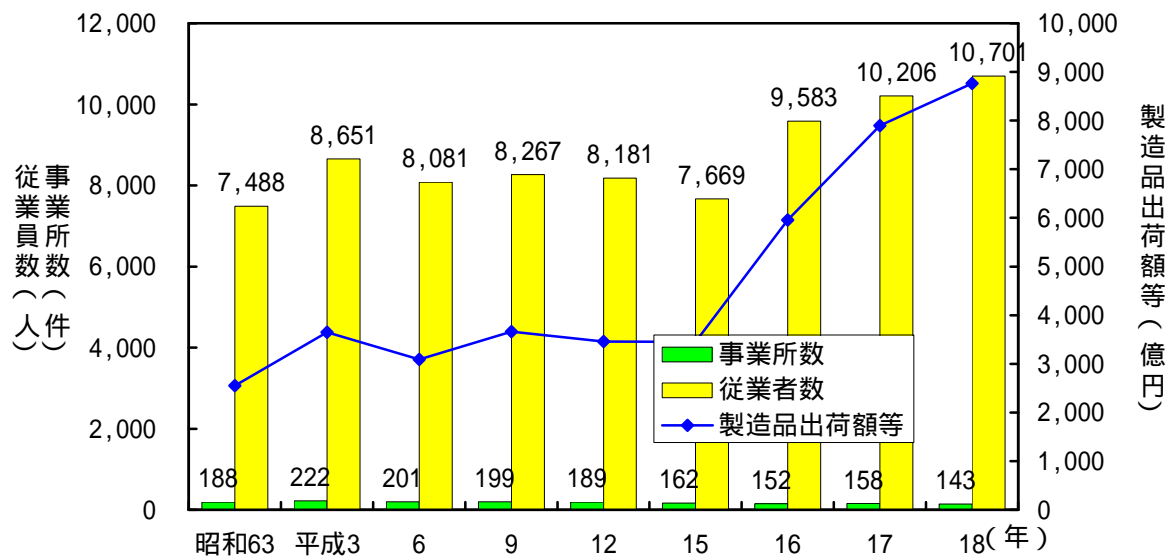


図1 - 3 事業所数・従業者数・製造品出荷額等の推移

資料：三重県統計書  
旧市町合算数値

表 1 - 2 業種別製造品出荷額等（平成 18 年）

単位：万円

産業分類	亀山市
総 数	87,667,724
食 料 品	461,988
飲 料 ・ た ば こ	178,990
織 維	152,501
衣 服	15,748
木 材 ・ 木 製 品	119,854
家 具 ・ 装 備 品	213,459
パ ル プ ・ 紙	208,045
印 刷	X
化 学	1,167,565
石 油 ・ 石 炭	X
プ ラ ス チ ッ ク 製 品	11,119,312
ゴ ム 製 品	823,984
皮 革	-
窯 業 ・ 土 石	3,856,228
鉄 鋼	2,040,958
非 鉄 金 属	15,075,429
金 属 製 品	1,144,265
一 般 機 械	2,711,408
電 気 機 械	781,798
情 報 通 信 機 械	X
電 子 部 品	452,976
輸 送 機 械	12,262,203
精 密 機 械	-
そ の 他	X

注) -：該当なし、X：秘匿（公表できない）数値

資料：三重県工業統計

(4) 都市計画

亀山市では、都市計画法に基づき、都市計画区域が定められています。

行政区域に対する都市計画区域の割合は33%となっており、用途地域は住居系の用途が多く、次いで工業系、商業系となっています。なお、市街化区域及び市街化調整区域は未線引きとなっています。

表1-3 都市計画区域及び用途地域

単位：ha

区 域	面 積
行政区域	19,091
都市計画区域	6,447
用途地域	1,005.9
第一種低層住居専用地域	87
第二種低層住居専用地域	-
第一種中高層住居専用地域	34.2
第二種中高層住居専用地域	190
第一種住居地域	202.3
第二種住居地域	66.5
準住居地域	27.7
近隣商業地域	48.7
商業地域	2
準工業地域	50.4
工業地域	102.1
工業専用地域	195

注) 平成19年4月1日現在

資料：三重県県土整備部  
旧市町合算数値



亀山城多門櫓

亀山城は天正18年(1590年)岡本宗憲によって築城されました。別名を「姫垣」を意味する「粉蝶城」といい、当初は天守もありましたが、堀尾忠晴が丹波亀山城の天守と間違えて取り壊したとの伝承があります。多門櫓は、天守台と言われる本丸高石垣上にあり、寛永9年(1632年)頃に築造されたとみられます。三重県で唯一現存する城郭建造物として県史跡に指定されています。